

## 平成 30 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「我が事丸ごと」地域づくりプロジェクト
事業主体 (連絡先)	並柳団地まちづくり協議会 (0263-75-3135)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,087,733 円 (うち支援金 : 3,168,000 円)

### 事業内容

空き店舗を活用した地域住民の新たな居場所づくり

- 1 こども食堂の運営
- 2 カフェ・軽食の提供 (独居高齢者の個別対応)
- 3 各種講座・相談会の開催 (そば打ち体験、悩み事相談会等)
- 4 洋服等のリユース (無料で収集、お気持ち価格で販売)



【こども食堂の様子】

### 事業効果

- ・延べ利用者数 1,169 人 (H31.1.25 現在)
  - ・営業日数 69 日、一日平均利用者数 16.9 人
- 1 **子育て**) 放課後、行き場のなかった子どもたちが集える場所ができ、子どものみならず学校や親御さんからも好評を得ている。町内会の手伝いをする中高生も増えるといった想定を超えた効果もあった。
  - 2 **高齢者の居場所**) 休憩場所や待ち合わせ場所、また困りごと相談などで多くの高齢者の方に利用いただいた。また、カルチャースクールは認知度が高まるにつれて参加者が増え、普段会わない人との交流が生まれるなどの効果があった。
  - 3 **困窮者・身体精神弱者の支援**) 困窮者に対しては気軽に相談できるような雰囲気づくりも大切と感じた。自立支援を受けている方には、ちょっとした居場所を形成することが出来た。調子のよい時などは、こども食堂の手伝いなどしてくれる方もいた。

### 【目標・ねらい】

- ①子育て支援
- ②高齢者の居場所づくり
- ③困窮者・身体精神弱者の支援

### ※自己評価 **【B】**

#### 【理由】

- ① 懸案事項であった、放課後など行き場のなかった子ども達の居場所を提供することが出来た。
- ② 高齢者に対しても居場所を提供することが出来たが、当初の想定ほどカルチャースクールに人が集まらなかった。
- ③ 相談会は丁寧な相談をすればするほど予想以上に時間がかかってしまい、相談できる人数が限られてしまった。

### 今後の取り組み

並柳団地町会には、外国籍、ひとり親家庭、独居高齢者、身体精神弱者が多く、町内全体の 2/3 を占めている現状がある。このような町会が抱える「子育て」「高齢者の居場所」「困窮者・身体精神弱者の支援」の 3 大問題について、引き続き解決できるよう取り組んでいきたい。